

戰略重点科学技術 俯瞰図(案)

戦略重点科学技術：生命プログラム再現科学技術 【168億円（117億円）】

：戦略重点科学技術該当施策

目標

生命プログラムの再現による生命機能の統合的理解

生命機能単位をシステムとして再構築し理解する研究

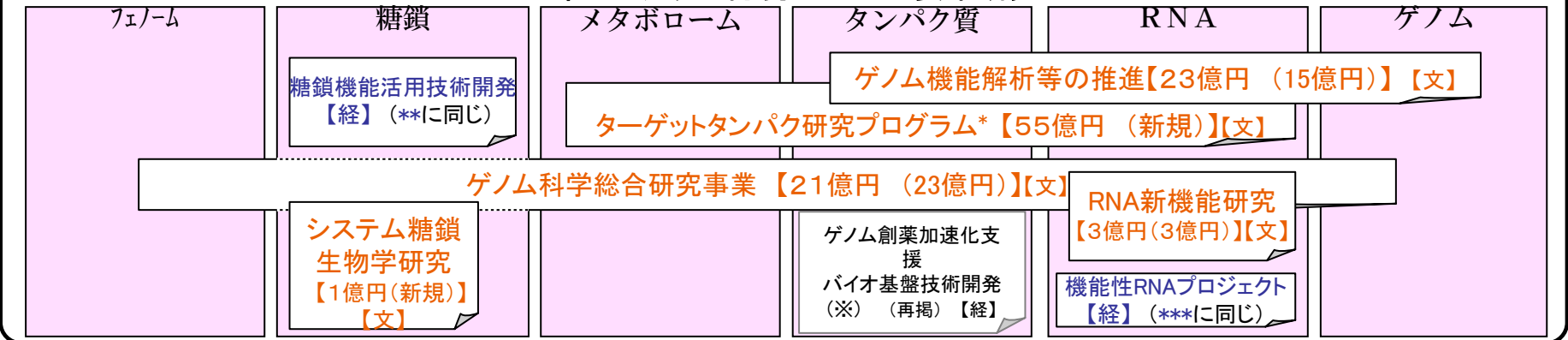
生体の高次調節機構のシステムを理解する研究

脳科学総合研究事業	【32億円（29億円）】	【文】
発生・再生科学総合研究事業（再掲）		
免疫・アレルギー科学総合研究事業	【14億円（14億円）】	【文】
植物科学研究事業（再掲）		

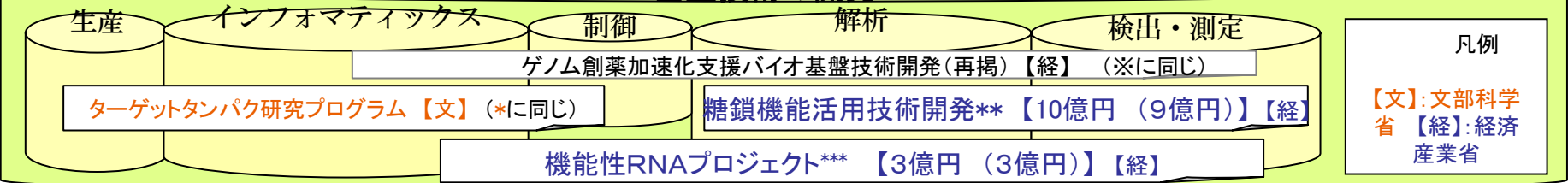
要素研究成果のヴァーチャルな統合システム

細胞・生体機能シミュレーション	【5億円（7億円）】	【文】
-----------------	------------	-----

生命プログラム再現のための要素研究



基盤技術の開発



戦略重点科学技術：国際競争力を向上させる安全な食料の生産・供給科学技術【予算総額：166億円(162億円)】

●高品質な食料を低コスト・省力的に安定して生産・供給する技術の開発

品種改良に向けた研究

シーズとなる研究成果の受け渡し

生産体制に関する研究

植物科学研究事業 (文) 6億円(6億円)
アグリ・ゲノム研究の総合的な推進(食料生産技術の革新に向けた研究推進) (農) 25億円(23億円) 等

低コストで質の良い加工・業務用農産物の安定供給技術の開発 (農) 5億円(5億円)
アグリバイオ実用化・産業化研究 (農) 6億円(10億円) 等

担い手の育成に資するIT等を活用した新しい生産システムの開発 (農) 6億円(新規)
粗飼料多給による日本型家畜飼養技術の開発 (農) 5億円(5億円) 等

●食品供給行程(フードチェーン)全般におけるリスク分析に資する研究開発

食品健康影響評価技術研究 (食) 4億円(2億円)
食の安心・安全確保推進研究 (厚) 15億円(14億円)
牛海綿状脳症(BSE)及び人獣共通感染症の制圧のための技術開発 (農) 9億円(9億円) 等

・次世代の食料・食品を先導する革新的技術の開発

国際競争力向上のための、低コストで食料を生産する技術の強化

・生産性向上とその持続的発展のための技術開発

・ニーズに対応した高品質な食料・食品の技術開発

ポストゲノム研究の科学的根拠に基づいた、機能性食料・食品の研究開発

・遺伝子組換え技術の適切な使用のための技術開発

国民の食の安全・信頼を確保する技術の強化

・農林水産物・食品の安全に資する技術開発

・透明性・信頼性の高いリスク評価システムの開発

・効果的なリスクコミュニケーション手法の開発

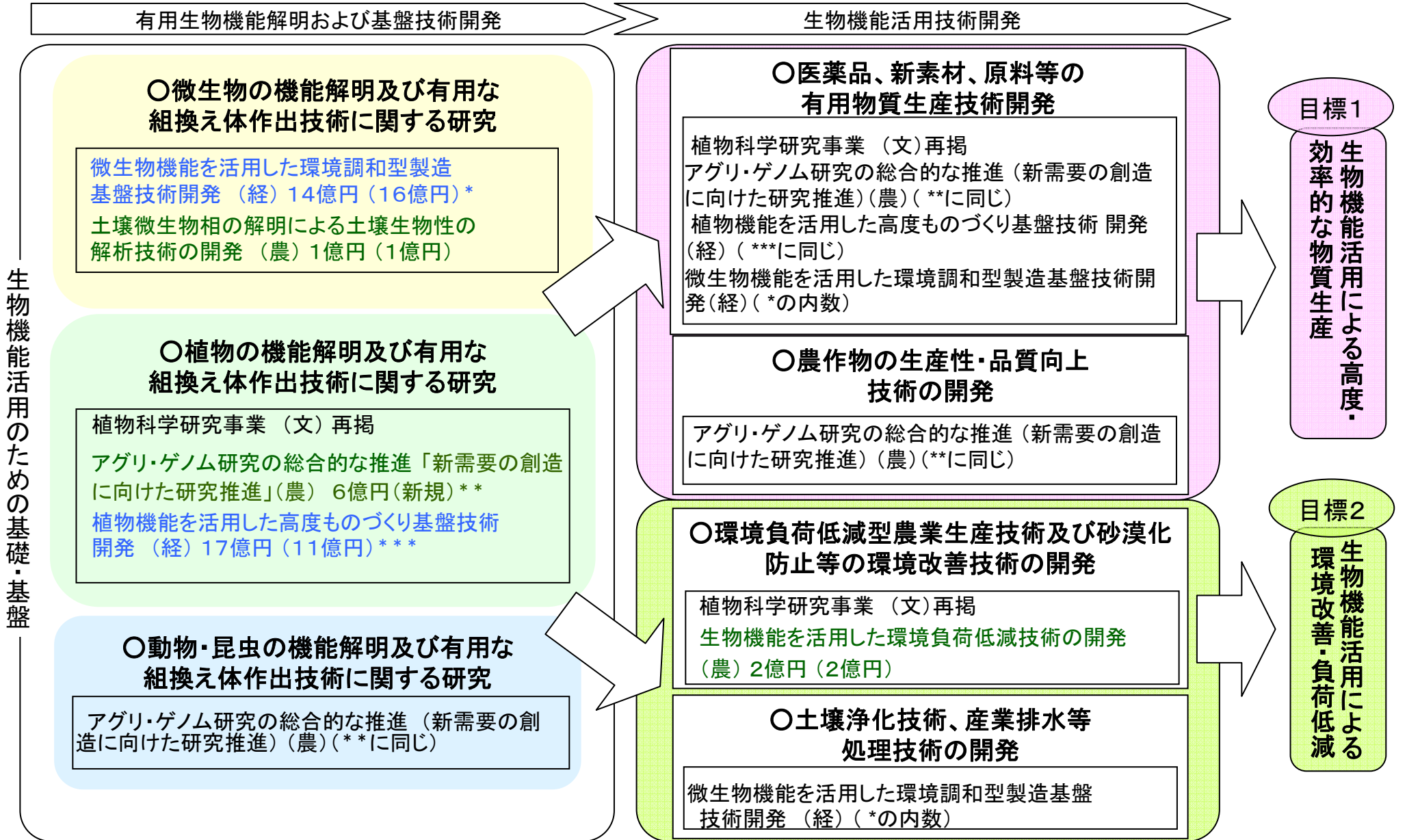
目標

農林水産、食品産業の競争力強化・国際的優位性の確保
食料自給率向上、国民の生活の質の確保

施策名及び担当府省：(食)食品安全委員会、(文)文部科学省、(厚)厚生労働省、(農)農林水産省

成果の受け渡し

戦略重点科学技術：生物機能活用による物質生産・環境改善科学技術【40億円(30億円)】



戦略重点科学技術該当施策

施策名及び担当省：(文)文部科学省、(農)農林水産省、(経)経済産業省

施策名及び担当省：(文)文部科学省、(農)農林水産省、(経)経済産業省

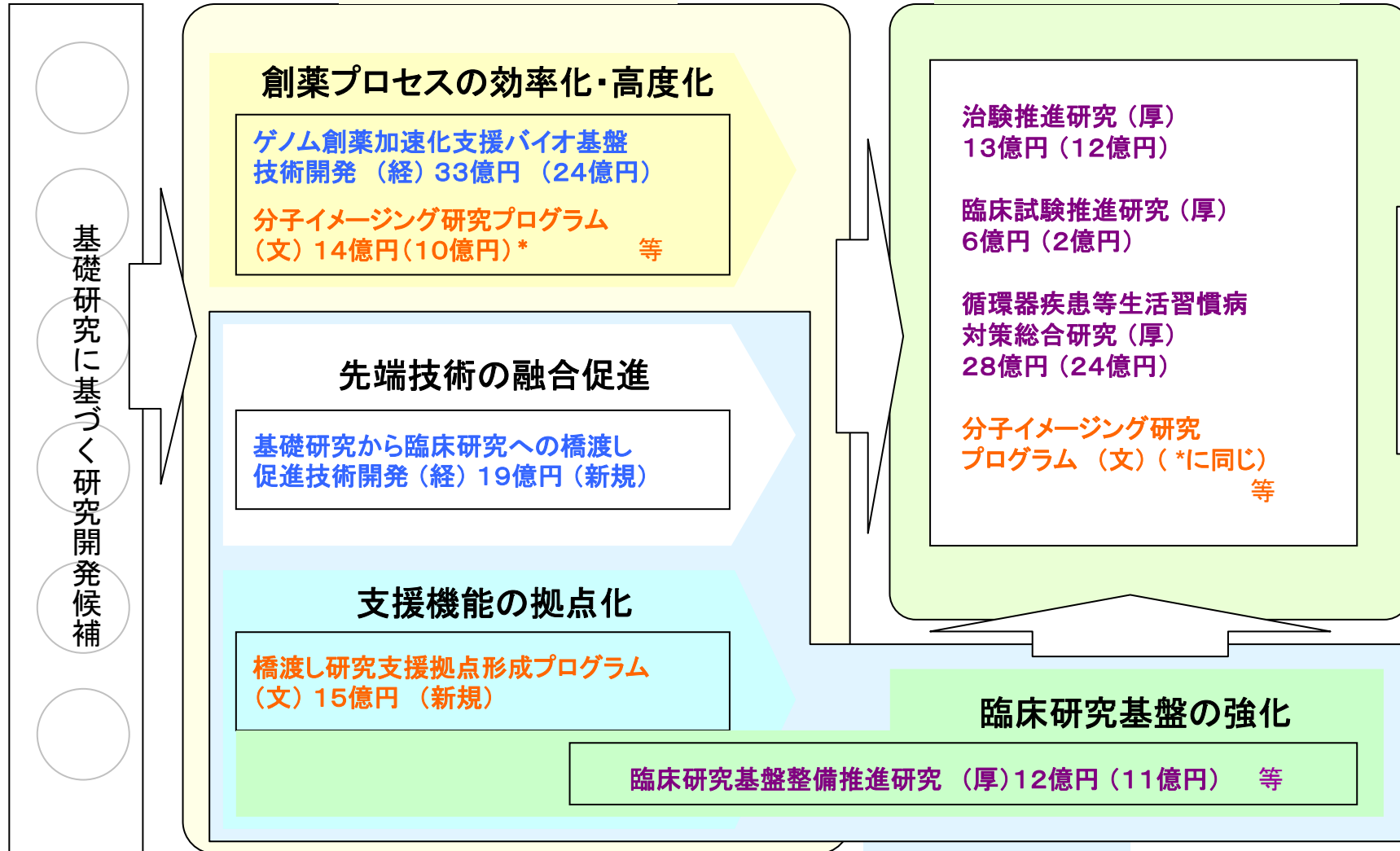
戦略重点科学技術：臨床研究・臨床への橋渡し研究 【予算総額 244億円（197億円）】

基礎研究成果等

臨床への橋渡し強化

臨床研究、治験等の推進

目標：国民への画期的治療薬・医療機器・医療技術の迅速な提供



体制整備

□ 戦略重点科学技術該当施策

施策名及び担当省：（文）文部科学省、（厚）厚生労働省、（経）経済産業省